

建築環境工学演習 (Seminar in Architectural Environmental Engineering)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
土木建築	必修	4年後	1	演習	平栗靖浩 西尾幸一郎	
【授業の概要】 建築環境に関する光、音、熱、空気環境の考え方を理解し、快適な建築環境を構築するための具体的な方法を学習する。						
【授業の進め方】 講義・演習を中心に進める。適宜、小レポートの提出を求める。						
【授業の概要】	【授業項目】			【内容】		
1回	日影図			建物の日影図を作成する		
2回	昼光率と昼光照度			窓からの昼光による室内の明るさを計算する		
3回	照明 1			照明器具を用いた室内照明計画の方法について解説する		
4回	照明 2			实在空間の照明計画に基づいて照明器具の配置図を作成する		
5回	騒音防止			様々な騒音源に対する評価方法・対策方法を理解する		
6回	遮音 1			外壁・界壁による遮音計画について解説する		
7回	遮音 2			床衝撃音の遮音計画について解説する		
8回	室内音響 1			室内の吸音・残響について学び、残響時間を計算する		
9回	室内音響 2			様々な室内音響評価方法について解説する		
10回	伝熱			伝導、対流、放射、日射負荷について解説する		
11回	断熱			熱貫流量の計算方法を習得し、断熱材による熱貫流率の変化を計算する		
12回	結露防止			湿り空気線図の使い方を習得し、結露発生の有無を計算する		
13回	換気			必要換気量・換気回数を計算する		
14回	通風			通風計画の考え方について解説する		
15回	まとめ					
【到達目標】	実験内容を理解した上で実験が遂行でき、目的、方法、結果、考察などの要求された項目を満たす報告書を書くことができる。					
【徳山高専学習・教育目標】	C1		【JABEE基準 1(1)】		d-2b	
【評価法】	1. 実験を行った (20%) : 2. 成果物 (レポート) の提出期限が守られている (10%) : 3. 成果物は実験指導書で要求されている必要条件を満たしている (70%)					
【テキスト】						
【関連科目】	建築環境工学					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】